

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		高齢者権利擁護推進事業		担当課	長寿福祉課	担当係	長寿福祉係	管理番号	27153	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	老人福祉法第32条					
	小項目	2	高齢者福祉の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		認知症等により判断能力が不十分な方とその関係者に対し、相談窓口を設置し、成年後見制度に関する相談と利用支援を行う。成年後見人の中でも身近な立場で後見業務を行う市民後見人を育成する。								
目的 ※何のために		高齢者の権利擁護のため								
対象 ※誰・何を対象に		深谷市にお住まいの方								
手段 ※どのように		成年後見に関する相談等業務								
成果 ※何を求めるか		判断能力が不十分な高齢者を保護し、その権利養護を推進する。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	3	民生費	4	老人福祉費	1	老人福祉総務費	高齢者権利擁護推進事業	1,952,516
本事業の 主な業務		・ 成年後見市長申立事務							・	
		・ 成年後見利用促進事務							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト) 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		事務協定締結 支払い 申出・職権申立て・審判 報酬助成	事務協定締結 支払い 申出・職権申立て・審判 報酬助成	事務協定締結 支払い 申出・職権申立て・審判 報酬助成	事務協定締結 支払い 申出・職権申立て・審判 報酬助成	事務協定締結 支払い 申出・職権申立て・審判 報酬助成	
事業費	予算(現額)	1,930,000	2,938,000	2,879,000	2,899,000	3,076,000	
	決算額	1,146,266	1,000,192	1,771,690	1,952,516	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	906,426	732,182	999,750	1,700,000	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	58,091	5,364	16,684	42,550	30,000
	一般財源	181,749	262,646	755,256	882,966	1,346,000	
人件費	従事職員数(人)	1.05	0.80	0.75	0.70	0.78	
	人件費相当試算※	8,263,035	6,408,132	6,166,681	5,933,966	6,870,621	
総事業費試算		9,409,301	7,408,324	7,938,371	7,886,482	9,946,621	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	市民後見人養成講座（基礎／実践）回数	目標値	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00		
		実績値	2.00	2.00	2.00	2.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		成年後見サポートセンター運営委員会協議による講座開催回数。/講座回数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	成年後見相談窓口開催日数	目標値	日	244.00	242.00	243.00	242.00	242.00		
		実績値	242.00	243.00	242.00	242.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		現状を維持していくことを目標とする。							
	実績値の算出式									
成果指標 1	市民後見人養成講座（基礎／実践）修了者数	目標値	人	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00		
		実績値	14.00	14.00	5.00	7.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成30年度より目標値を見直した。 / 延修了者数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	成年後見サポートセンター相談件数	目標値	件							
		実績値	163.00	129.00	175.00	171.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		相談件数に目標はないため、目標値は設定しない。 / 相談件数							
	実績値の算出式									
成果指標 3	成年後見市長職権申立件数	目標値	件							
		実績値	14.00	1.00	6.00	5.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請件数に目標はないため、目標値は設定しない。 / 申立件数							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	深谷市社会福祉協議会に委託し設置している「深谷市成年後見サポートセンター」において、成年後見に関する相談窓口の開設、市民後見人養成講座（基礎・実践）の開催など行うことができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	・市民後見人養成講座の修了者数は、7人と前年度より2人増加している。 ・相談件数は、前年度（171件）より微減した。 ・市長職権申立件数は、前年度（6件）より1件減少した。
			評価者 長寿福祉係長 山村恵美子

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	深谷市社会福祉協議会に委託することで、認知症高齢者が増加傾向にある中、成年後見サポートセンターによる相談受付、後見申立手続き等の支援業務は、円滑に行えている。本事業は、重要な取り組みであるため、引き続き市民への周知や利用促進を図っている。
			評価者 長寿福祉係長 山村恵美子